

令和4年度 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等（森林認証材の需要拡大事業）

## 森林認証取得に向けた合意形成 事業報告

### 1. 事業の目的

- ① 吉野林業地域における森林所有者に呼びかけて、森林認証制度をしっかりと勉強して、メリット・デメリット、コスト・ベネフィットを整理し、FMグループ認証（生態系サービス評価を含む）への合意形成に向けて活動すること。
- ② 吉野材流通・加工関係者に呼びかけて、森林認証吉野材のサプライチェーンを構築するためのCoC認証制度をしっかりと勉強して、メリット・デメリットを整理し、合意形成に向けて活動すること。

### 2. 事業実施と結論

関係する森林所有者・流通・加工関係者を委員に任命し、第一回全体協議会で、事業全体の枠組みと議論の方向性の整理を行った。各認証取得の情報収集は部会単位で進めることとなった。

FM・CoCの各部会では、国内の森林認証機関や審査経験の豊かな有識者に講師を依頼し、森林認証制度の勉強会や現地検討会の実施を通じて、認証取得に向けた可能性を検証した。成果物として、認証取得の検討で直面する諸課題を把握する「森林認証マニュアル」を作成した。

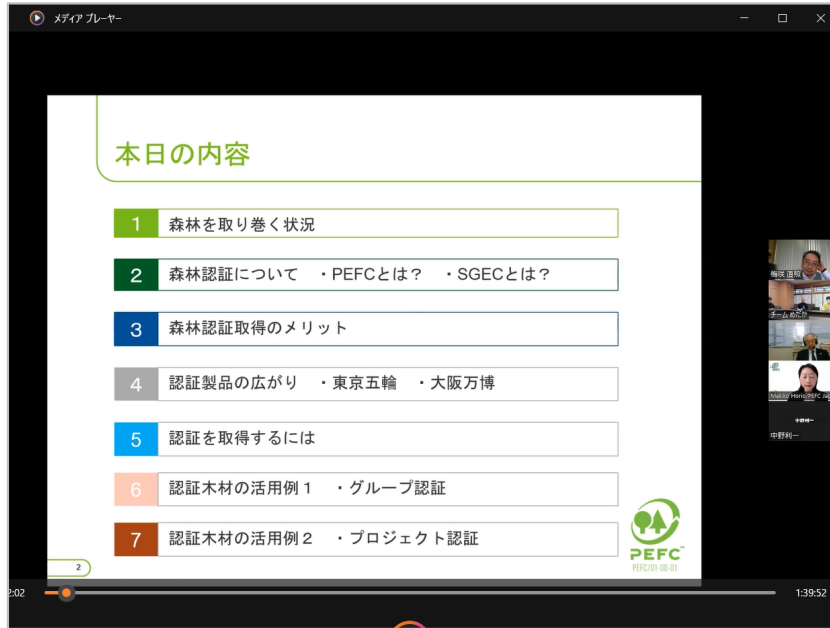
第二回全体協議会では、各部会の成果報告を踏まえ、森林認証取得の要否について議論した。

認証取得による森林・木材経営強化やグループ認証での負担軽減は積極的な判断材料であるものの、今日の市場状況では認証材ベネフィットに取得費用や管理コストが見合わない旨の意見が根強く、吉野地域における森林認証取得の合意形成には至らなかったが、今後の認証材需要拡大に備えて、グループ認証の実施主体設計の検討を、弊協会が主導して今後も継続することとなった。

### 3. 実施内容詳細

日時	場所	規模	テーマ	内容	気付き事項
令和4年11月22日 14:00～16:15	すみれホール オンライン講義	講師 + 7名	SGEC/PEFC 森林認証セ ミナー	SGEC/PEFC相互承認 グループ認証の概説 認証製品と取得の流れ	相互承認の利点（世界標準） グループ認証の構想の明確化 認証審査費用の相場感
令和4年12月20日 10:00～12:10	すみれホール オンライン講義	講師 + 16名	森林認証制 度の総論	森林認証の便益と課題 求められるシステム整備 FSCとPEFCの構造比較	社会的便益とコストのせめぎ合い 地理情報や体系的な管理指針 トップダウン型かフランチャイズ型か
令和4年12月20日 13:00～15:00	すみれホール オンライン講義	講師 + 12名	FSC森林認証 （国内事例を 題材に）	様々なパターンと成功例 グループ認証のケース紹介 FSC審査要求事項	認証と地域林業方向性の合致 認証審査費用の相場感 森林認証を契機とした経営強化
令和5年1月17日 14:00～16:00	すみれホール オンライン講義	講師 + 8名	FSC CoC認 証セミナー	CoC要求事項の解説 原材料管理ルールの基本 商品への広告宣伝概説	混ざらないための管理体制負担 FM認証材の下流側受入体制 ラベルと商標の扱いは厳密
令和5年3月8日 9:30～12:00 13:30～17:00	現地森林 下市町 川上村	講師 + 8名	吉野林業地 域における森 林現地検討	認証済み森林の視察 現地審査でのポイント 認証候補森林の視察	取得による従事者の意識向上 自然度を下げない方が良い 作業道・獣害は新たな認証課題
令和5年3月9日 9:00～12:00	すみれホール	講師 + 5名	現地を踏まえ た認証取得手 順の検証	まず範囲＝器を決める 会則と費用負担決定 本審査と年次監査	幹事の役割が成否のカギ CoCとFMは同時で取得すべし 公共との連携模索（補助金）
令和5年3月14日 14:00～15:30	すみれホール	12名	森林認証取 得への展望に 関する討議	これまでの事業報告 必要性と費用対効果 各委員の意見	賛成：グループ認証なら低負担 反対：コスト忌避、万博期待薄 他：事業の必要性に応じて取得

コスト負担への懸念強く合意形成に至らず ➡ 認証材の需要増に備えてグループ認証の検討は継続する



FM認証(PEFC) オンラインによる制度講義 R4.11.22



FM認証(FSC) オンラインによる制度講義 R4.12.20



吉野林業地における森林認証全体協議会 R4.12.20



CoC認証 オンラインによる制度講義 R5.1.17



FM認証 現地検討会 R5.3.8



FM認証 現地検討会 R5.3.8



FM認証 認証取得手順検証 R5.3.9



CoC認証検討および全体協議会 R5.3.14